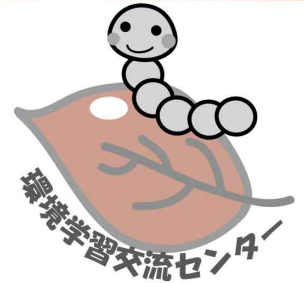


アトア



子ども達に大人気の自転車発電



夏休み企画「紙すき」も大好評でした!



でっかいお弁当箱が出現!
「食でつながる岩手と世界
～フードマイルージを通して～」の展示

冬の足音が聞こえてきたこの頃。皆さんの冬支度は万全ですか？
今年の冬も“ウォームビズ”で乗り切りましょう！
環境学習交流センターでは、7月から新しい仲間として「アカハライモリ」と「クロメダカ」が加わり、子ども達の人気を集めています。
また、入り口のガラス面にエコハッチャンやいも虫君の大きなシールが張られ、皆さんをお出迎えしています。パワーアップした元気いっぱいセンターにぜひお立ち寄りください。お待ちしております！

Index

- ▶ センター情報
 - ・ 展示
 - ・ エコカーゴが行く！ ～第5回～
- ▶ 団体紹介
 - <盛岡市> NPO法人緑の相談室
 - <一関市> NPO法人里山自然学校はずみの里

- ▶ 「皆で取り組んでいます。CO₂ダイエット日記」 その5
- ▶ 県内イベント報告
- ▶ 県内イベント情報
- ▶ 環境アドバイザー・地球温暖化防止活動推進員の紹介
- ▶ 特集コラム
及川齊志さんのドイツ通信 vol.4



センター情報

7月から「学びからやさしい未来を」と題してスタートした土日環境講座。「まだ参加したことないなあ」「一体、どんな講座をやっているの？」という方のために、講座の様子をお届けします。

◎展示

作ってみよう！ 自然クラフト



センターには、松ぼっくりやどんぐりなどで工作できる「森の工作館」があります。秋になるとスタッフが拾いに行ったり一般の方から頂いたりして、一年中、自由に材料を使って（しかも無料！）自然クラフトを作ることができ、お持ち帰りもできます。夏休みや冬休みの工作に作っていく人もいて、子どもから大人まで、みなさん楽しんで作っていかれます。自由な発想でオリジナル作品を、ぜひ作りに来てください！

取材協力：独立行政法人森林総合研究所東北支所



手のひらより大きい松ぼっくり “ゴヨウマツ” と呼ばれる ヒメコマツ

丸い形が特徴のどんぐり

エコカーゴが行く！

第5回

おでんせ・べごっこフェスタ2009

出動日：2009年9月26日（土）・27日（日）

場所：ふれあいランド岩泉（岩泉町）

9月26日（土）・27日（日）の二日間、岩泉町で開催された「岩泉・おでんせ・べごっこフェスタ2009」に、



エコカーゴで出張環境学習会に行ってきました。当日の会場内では、牛とのふれあいコーナーや牛の鳴きまね大会、丸太切り競争などがイベントステージで繰り広げられ、大勢の人出

で賑わっていました。

私たちの環境学習交流センターのブースでは、「手回し発電」の省エネ電球比較や、「もてるかな？」のエネルギーのかばん体験、「自転車発電」などを用意し、たくさんの来場者の方々に体験していただくことができました。子供たちに一番人気だったのは「手回し発電」。手回し発電機を一生懸命回すと、きれいに豆電球が光るので、小さな子供たちは大喜びです。大人の方たちは「もてるかな？」や「自転車発電」に興味津々な表情で、多くの方々が立ち寄って体験にチャレンジしてくれました。

思っていた以上に秋風が冷たく、早々と冬の気配を感じていましたが、すぐ隣で行われた魚のつかみ取りをする子供たちに元気を分けてもらった気がする一日でした。

(by ひかる☆)



土日環境学習講座

～学びからやさしい未来を～

「クマは怖い？ イヌも怖い？」

8月23日(日) 13:30～15:00

講師：高橋 知明氏(岩手県環境アドバイザー、動物のお医者さん、いわて野生動物保護ネットワーク代表幹事)

「熊がでたあ～!!」

土日環境学習講座は、7月から10月、4か月終了しました。いろいろ勉強しました。食と農、自然環境、3R、そして環境と健康。

8月の講師の先生は、熊を連れてやってきました。小型の熊で、きれいになめしたフカフカの毛皮、本物でした。大きな熊の写真は、自分で撮ったものだと言っていて、見せてくれました。毎回の講師の先生の豊富な知識には感心し、時には体験で得た人生感もうかがうことができ有意義なものです。

これからの予定は、11月と12月は「新エネルギー」、来年1月は「循環型社会」となっています。更なる知識を大勢の方と共有できることを願っています。(担当 田近)



7月のテーマ 『日本のこれからを支えるいわての“食と農”』

- 4日(土) 食からみたインドネシアと日本 講師：桶田陽子
- 5日(日) 岩手の食文化を大切に 講師：田沢光正
- 11日(土) 岩手県、岩手郡、岩手町から発信する新しい食文化 講師：柴田和子
- 12日(日) 食と農からコミュニティを元気にする 講師：渡邊理沙
- 18日(土) ～食の文化と安全～ 講師：立身政信
- 19日(日) スローフード岩手が目指すもの 講師：塚原良子
- 25日(土) サカナでeco発信 講師：鈴木寛人
- 26日(日) 西和賀の自然と山菜振興 講師：佐々木仁



8月のテーマ 『守るのは君たちだ！いわての自然環境』

- 2日(日) ラベンダーステックづくり 講師：上野かなえ
- 8日(土) 岩手のイヌワシとその未来 講師：前田 琢
- 9日(日) 盛岡周辺 鳥っこ今昔 講師：中村 茂
- 15日(土) ～私の流儀～自然観察会のポイント(座学編) 講師：小川五郎
- 16日(日) ～私の流儀～自然観察会のポイント(実践編) 講師：小川五郎
- 22日(土) むしはこんなにカッコいい！ 講師：伊達 功
- 23日(日) クマは怖い？ イヌも怖い？ 講師：高橋知明
- 29日(土) クモに興味ある人集まれ 講師：佐々木智雄
- 30日(日) リンゴのひみつ 講師：上野かなえ



9月のテーマ 『地球を守るRがある』

- 5日(土) 省エネを笑エネに変えてみましょう 講師：八重樫千代子
- 6日(日) 下水道 人・水・土地のサポーター 講師：佐々木正之
- 12日(土) リユース食器を使う 講師：鈴木千里
- 13日(日) 楽しくリフォーム 講師：三上れい子
- 19日(土) リサイクルの現状を知ろう 講師：岡村 治
- 20日(日) 誰でも出来る地球に優しい暮らしと住まい 講師：櫻田文昭
- 26日(土) ごみ減量はひとり一人の心から 講師：瀬川智子
- 27日(日) 3R&6R わが家から実践 講師：渡邊彰子



10月のテーマ 『今、カラダが危ない...健康問題の傾向と対策』

- 3日(土) 脳卒中ってなんだろう？予防にはどうしたらいいの？ 講師：桑田知之
- 4日(日) 環境アレルギー病(喘息、アトピー性疾患・化学物質過敏症) 講師：水城まさみ
- 10日(土) 環境汚染物質による健康影響 講師：板井一好
- 11日(日) 環境汚染物質による健康影響 講師：仲井邦彦
- 17日(土) 物忘れ？もしかしてそれって、認知症？ 講師：桑田知之
- 18日(日) 疫学研究はおもしろい 講師：丹野高三
- 25日(土) メタボリック症候群のひみつ 講師：大澤正樹
- 31日(土) 中高年登山の医学講座 講師：中屋重直



11・12月のテーマ 『未来を創造するニューブランドエネルギー』

- 11月 1日(日) エネルギーの基礎知識→エネルギー問題の前に… 知っておきたい簡単なエネルギーの法則 講師：細田孝高
- 14日(土) バイオマス利用の法制度 講師：古川 務
- 15日(日) 家庭で1kwhの熱を使った時に排出されるCO₂—電気、ガス、灯油で比較しよう 講師：内田信平
- 21日(土) 身近な新聞報道からみた地球温暖化問題1 講師：菅原省司
- 22日(日) 人間活動と生命活動からエネルギー問題を考える 講師：吉村泰樹
- 28日(土) 空気熱ヒートポンプ暖房の家 講師：植田 優
- 29日(日) 木質バイオマス基礎知識→地産地消のエネルギー木質バイオマス 講師：細田孝高
- 12月 5日(土) 地中熱ヒートポンプ暖房の家 講師：植田 優
- 6日(日) 廃棄物のエネルギー利用 講師：笹尾俊明



これからの予定

- ・平成22年1月 『循環型社会』
- ・2月 『身近な自然環境』
- ・3月 『その他』

団体紹介

今回は、地域に密着した活動をしている団体をご紹介します。

NPO法人緑の相談室(盛岡市)

現在、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨などの環境問題が地球規模で広がり、国際社会全体が協力して取り組むべき重要な課題となっています。

このことから、岩手県にあっても、総合計画で「自然との共生、環境を基調とする社会」の実現を広く県民に呼びかけています。

緑の相談室は、県民一人一人が環境についての理解を深めることが必要と考え、緑の持つ特性を啓蒙する等環境教育の充実を図り、併せて、良好な景観形成を創造するため、まちづくりの推進に寄与し、県民が安心して暮らせる地域社会の実現に寄与するため活動しております。

主な活動としては、内丸緑地、岩手県立緑化センター、岩手公園(盛岡城跡公園)を指定管理者として管理しております。管理にあたっては、「常に利用者の立場にたって、利用者の求めることを先回りして提案すること。」をモットーに正会員、賛助会員一丸となって頑張っております。



NPO法人里山自然学校はずみの里(一関市)



カヌー体験も最初はがんばる!

NPO法人里山自然学校はずみの里は、平成15年に発足しました。当初は自然観察会を行うグループだったのですが、今は「放課後児童クラブはずみの里」を市からの委託で運営しながら、日々子どもたちに自然体験のみならず、様々な活動をおして子どもたちの健全育成に携わっています。

夏は、例年地元の金流川で川遊びやカヌー遊びなどをおして、ふるさとの自然を子どもたちの心に刻む活動を行っています。また、子ども教室を併設していますので、地元ボランティアの皆さんと一緒に工作活動なども行っています。

はずみの里のスタンスは、子どもたちが将来おとなになった時に、ふるさとを懐かしむ心、ふるさとを大切にすることを養っていきたいということです。ふるさとの自然や環境を大切にすることにつながっていくと考えています。「ゲームセンターや映画館はなかったけど、僕たちはふるさとの川や山でいっぱい



で、結局最後はこうなる!

遊んだ。」というある種のセンチメンタルな気持ちを子どもたちが持った大人になればいいと思います。

子どもを取り巻く環境は様々です。一人親の子、うまく感情を表現できない子、両親揃って元気いっぱいの子、わがままでけんかが多い子。成績のいい子、悪い子…。でも、すべてがそのままの現状を受け止め、子ども達は子どもなりに精一杯成長しようとしています。自然体験を含めた様々な体験活動は、この子たちに大なり小なりの影響を与えます。ある時は怒り、ある時は褒め称え、ある時は一緒に考えたり、ある時は大人として接し、喜怒哀楽を共にする。私たちはそんな活動を日々行っています。親も共働きが多くなった現代、学校以外で子どもが大人と接する機会、親と接する機会は、私たちが育った時代とは異なります。親の代わりにはならないかも知れないけれど、子どもと一緒に気持ちを共有する。そんなステージとしてはずみの里は今後も活動をしたいと思います。

『皆で取り組んでいます。CO₂ダイエット日記』その5

皆さんはどんな場面でお水を使っていますか? 考えてみると沢山の水を使っていることに気づくはず。今回の皆さんの声は『水』についてをピックアップしたいと思います。

地球は「水の惑星」と呼ばれていますよね。これは地球の表面の実に10分の7が水におおわれているためです。地球に存在する水のうち約97%は海水で、私たちが利用できる淡水は3%程度。そのうち実際使える状態で存在する水は、ほんのひとつまみ分ほどしかありません。

- 水道はいつも出る量を調節しながら使用しています。使い方を工夫しなければと思っています。
- 雨水を活用して、野菜生花の散水など大いに利用しております。
- お風呂の水はなるべく少なくして半身浴程度の湯量にしています。
- 水道はわき水。落差利用してパイプで引いた自家水道です。新鮮で大量に使

用できますが無駄づかいを感じて大いに反省しています。

- 花の水かけには側の用水路の水を毎日利用しています。
- 洗濯に風呂の残り水を電動ポンプでくみ上げて使用しています。
- 食器を洗うときは水を流しっぱなしにせず、溜め洗いをする。

雨水を貯めて利用する、お風呂の水を再利用というアイディアはさすがですね。

手を洗う時や食器洗いの時、勢いよく水を出した方が汚れが落ちる気がする、という方が多いのではないのでしょうか。しかし効率のよい水量は、大体エンピツ1本分くらいの太さで十分といわれています。シャワーも同様、水を沢山流すとさっぱりして気持ちよいかもかもしれませんが、ほんの少し気をつけてみると、環境にも気持ちよい水の使い方ができるのではないのでしょうか。溜め洗いは台所もお風呂でもオススメです。

でも実際いつも気をつけるのは大変だし、節約できそうにないものもある!? というわけで今すぐ簡単にできそうな水工コをご紹介します。

- 節水型シャワーヘッドに興味があります。大切な水をもっと工夫して利用しようと思います。

節水型シャワーヘッドは取り付けるだけで水を節約できるすぐれもの。なかには約50%節水になるものもあるようです。しかも使用感は通常の水量とほとんど変わらないとか。ホームセンターで手軽に手に入れる事ができますし、取替えも比較的簡単に行えるそうです。

- トイレの水は勢いよくかなり多く出ますが節約の方法は?
- 水の節約のためにタンクに、ペットボトル(500ml)に水を入れたものを入れてやってみたところ、水道料金が前月より減りました。

県内のイベント情報

第1回 こどもエコクラブ交流会 in 花巻市東和町 「納涼！水辺ツアー」

○日時：8月9日（日）

今回は一般の方も含む計4家族が参加し、田瀬ダムととうわメダカの里をまわりました！

田瀬ダムでは管理棟で説明を受けたあと、ダムの中を見学しました。普段入る事の



できないダム内は、隣がすぐ水の中というドキドキの場所。ちなみに当日の水位は約195.5m（ビル56階相当！）。気温は年中ひんやり12℃前後だそうです。

お昼とクイズを挟み、午後はとうわメダカの里で水辺の生物と触れ合いました。それぞれに網を持ち、管理者の方と池をまわります。先に仕掛けていただいていた畏から沢山のゼニタナゴやザリガニが出てくると、子供からも大人からも「すごい!!」と歓声があがりました。それからは思いおもいに自然と戯れ、満喫。すっかり生物達の虜になっていました。曇りで心配していましたが、天然黒メダカさんともしっかり会う事ができました



よ（最後はちゃんと戻してあげました）。素晴らしい自然に触れ、大満足な一同なのでした。

次回の交流会もどうぞよろしくお願ひします。（by けむちゃん）

風のエネルギーで遊ぼう ～風で遊ぶ、風を活かす～

◆日程 2010年1月9日（土）～
11日（月）

2泊3日

- ◆場所 森と風のがっこう
- ◆対象 小学3年～中学3年 20名
- ◆費用 10,000円
(宿泊、保険、食費等含む)

お問合せ

NPO法人岩手子ども環境研究所
(森と風のがっこう)
028-5403岩手県岩手郡葛巻町江刈42-17
TEL&FAX: 0195-66-0646
morikaze0@gmail.com

網張の森 初冬の自然観察会・雪上自然観察会

- ・日時：12月6日（日）、20日（日）
2月7日（日）
午前10時～午後2時30分
- ・参加料：大人800円 小学生600円
(温泉入浴料含)
- ・集合場所：網張ビジターセンター
- ・定員：各30名

鞍掛山雪上自然観察会

- ・日時：1月10日（日）、2月20日（土）
午前9時40分～午後2時30分
- ・参加料：大人600円 小学生400円
- ・集合場所：相の沢登山口（駐車場）
- ・定員：30名

岩手山麓に伝わる冬の道具作り

- ・日時：1月24日（日）
午前9時30分～午後3時
- ・参加料：2,000円
(材料費、温泉入浴料含)
- ・集合場所：網張ビジターセンター
- ・定員：30名

お問合せ

網張ビジターセンター
TEL: 019-693-3777
FAX: 019-693-3778
E-mail: amihari@vanilla.ocn.ne.jp

自然の宝もの見つけ隊

・12月20日（日）

植物の不思議探検隊

・1月17日（日）

虫の目で見るネイチャーランド

・2月21日（日）

◆時間：午前10時～午後12時 ◆集合場所：ネイチャーセンター

お問合せ 岩手県滝沢森林公園
野鳥観察の森ネイチャーセンター
TEL&FAX: 019-688-5522

トイレの節水についてはアドバイスを求め声がかかりました。1回水を流すと大で8L、小で6L程度の水を一気に流してしまいます。この水の使用量は、実に家庭の生活水の28%にあたります。

ペットボトルやレンガを入れての節水は確かに効果がありますが、水量は下水に流す事を考えて設定されているため、無理な節水はトイレ自体の故障原因にもなり注意が必要です。心配な方は大と小を使い分ける事により、2Lの節約ができますから、チャレンジしてみましょう。最近は節水型トイレもありますので、新しく変える場合はそちらの購入を考えてみるといいかもしれません。

また、外出先等で音が気になって流してしまう…という方にオススメなのが、携帯できる擬音装置。デザインが可愛いものもありますよ。

これくらいならできるかな？というエコを2つほど紹介しました。皆さん機会があればぜひお試しください。

また、その他にもこんな意見がありました。

●石鹸洗剤はいただきものを使用中です。自分で購入する時は環境に配慮した製品選びを心掛けたいものです。

水は長い長い旅をして私たちのもとにやってきます。水道水は水源からポンプで汲み上げられた後浄水され、その後各家庭に送られていきますが、蛇口をひねるとすぐ水が出るのはポンプで常に送り出されているから。そこでもエネルギーを使っているんですね。もちろん使用された水は下水を流れ、またエネルギーを使い浄化されて自然に戻されます。少しでも汚さずにもとに戻してあげたいものです。

さらにはこのようなコメントもたまに見かける事が。。

●水道の使用量が増えたのは漏水が原因です。ソーラーの貯湯タンクがあふれっ

ぱなしになっていました。

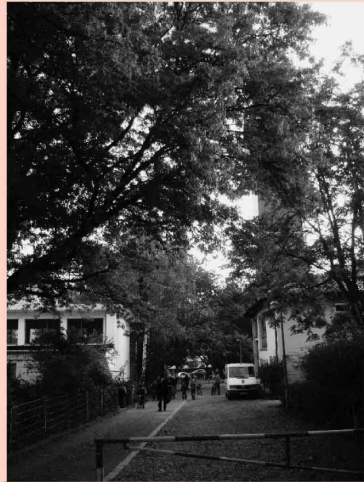
このように漏水していたということもしばしば。せっかく綺麗にした水をムダにしてしまうのは、もったいないですよ。水漏れは毎月の水量をチェックしておく、すぐ変化に気づくことができると思います。最近使用量が多いなと思ったら、すぐ確認してみましょう。



新規会員も
まだまだ募集中です。
用意するものは
光熱費の請求書のみ。
もちろん参加無料!
ぜひ皆さんも
取り組んでみて
ください。

☆CO₂ダイエット日記について、詳しくは下記ホームページを参考ください。
パソコン版: <http://www.aiina.jp/environment/co2diary/top.html>
携帯版: <http://www.aiina.jp/environment/co2diary/mobile-top.html> →
※郵送・FAXでも取り扱います。環境学習交流センターまでお問い合わせください。





フライブルクの木々

街中にある木々達はいつも勉強で疲れた僕の心を癒してくれます。フライブルクの街を少し歩くと、木々が非常に多いことにすぐ気が付き、住人に、旅行者に柔らかな印象を与えてくれます。街中の木々は、排気ガスで汚れた空気を綺麗にしてくれたり、街中の水の循環を調節してくれたり、真夏の焼けるような日差しの中に心地よい木陰を作ってくれたりもしてくれます。そして木々は私達人間にだけ豊かさを与えてくれるだけでなく、鳥や、虫達の街中での重要な棲み家にもなります。

公園の木々から街路樹、庭の木々、植樹されたばかりの若木からどっしりとした大木まで至る所に生えています。では何故フライブルクにはそんなに木が多いのか？この疑問に対する一つの答えとしてフライブルク市の「市中の周囲80cm以上の木は勝手に切ってはいけない」、という条例があります。市民はたとえ自分の庭の木であっても、市の許可無しに無断で大木を切り倒すことは出来ません。そしてもう一つの理由として、ドイツでは住宅や工場、ショッピングセンターなどの建設の時に破壊した自然に対する補償として他の土地に木などを植え、失われた「自然環境」を回復するように義務付けられています。このように、木を、森を、そして自分達の心地良い環境を守っていこうという法律がしっかりしているのだと感じました。しかしそれよりも、そんな法律をしっかりと整備するくらいドイツでは「自然」、「環境」を重要なものとしているし、そして何より多くの市民が安らぎの場としての緑を大切にしているので、フライブルク市内にたくさんの木を見ることが出来るのだと思います。

日本では、国土の約7割が森林に覆われている一方、街中の木々は少なく無機質な景観が目につきます。街中の心地よい、豊かな空間を私達は手に入れていくよう強く望んでいくことが大切だと思います。

及川育志さんの
ドイツ通信
Vol.5

環境アドバイザー・地球温暖化防止活動推進員の紹介



写真左から、梅野克雄さん、菅原省司さん、櫻井則彰さん

環境学習交流センターで月に一回、気候変動と環境政策について勉強会をしています。

11・12・1月の土日環境学習講座「身近な新聞報道からみた地球温暖化問題」の講師もします。



“カメ爺”こと
川村晃寛さん

「まずは野山に出かけようよ！」



優しい笑顔の
本多サト子さん

古着をリフォームし、昔の物に息吹を与えることでエコ活動を実践しています。

Information

環境学習交流センターでは今年度も様々なイベントを企画しています。皆様へは随時お知らせする予定ですので、センターのイベント情報をチェックしてみてくださいね♪

100万人の
キャンドルナイトinいわて
2009 ~冬至編~
12月23日(水・祝)
開催!



発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753
E-mail: eco@aiina.jp

<http://www.aiina.jp/environment/>

◎環境学習交流センターは、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが岩手県から委託を受けて運営しております。

次号は3月発行予定です。
楽しみに待っていてね!

<センター通信>スタッフのつづやき

10月のとある日、自然クラフトの材料を拾いに、盛岡市下厨川にある「独立行政法人森林総合研究所東北支所」へ行ってきました。そこで下田さんに、樹木のことはもとより、キイトンボや白いカッコウ、スズメバチのことまで聞くことができ、とても勉強になりました。また、自作の自然クラフトなどもたくさん見せていただき、センターでも参考になりそうな物がいっぱいあり、アイデアをたくさんいただきました。ありがとうございます！早速、センターでも取り入れたいと帰る道々考えながら、自然を満喫して帰った一日でした。

(H)